

「学力向上ポートフォリオ(学校版)」

～ 「真の学力」 育成の継続的な取組を目指して ～

＜本年度の学力向上基本方針＞

学校教育目標 明るく 正しく たくましく ～自ら学び、共に生きる子どもの育成～

研究主題 自分の考えをもち、共に学び合う子どもの育成
～日常生活に生きて働く言葉の力を高める国語科指導の工夫・改善～

＜本年度の学力向上策＞

1 全国学力・学習状況調査とさいたま市学習状況調査の結果の分析と活用

- ① 全国学力・学習状況調査の問題を全教員で取り組み、国が求める児童像を分析する。
- ② 学力向上カウンセリング学校訪問を活用した調査結果の分析を行う。

2 共通の視点に基づいた全学年の授業実践

視点1 児童が主体的に学習に臨む単元計画の工夫

- ① 相手や目的を明確にした課題づくり
- ② 自信をもって学習に臨むための学習過程
- ③ 学習のゴールを明確にするモデル教材の活用

視点2 自分や友達、教材との対話から考えを深めるための工夫

- ① 目的にあった思考ツールの活用
- ② 意図的なグループ編成と交流内容
- ③ 成果を確かめ次回のめあてをもつ振り返り

視点3 日常生活に生きて働く言葉の力につなげていくための工夫

- ① 他教科や領域との関連
- ② 全校での取り組みをいかした指導

3 家庭・地域と連携した学校としての学習環境の整備

- ① 学校公開日に全学級国語授業実践を行い、地域・保護者からの意見を伺う。
- ② 朝の時間に年9回の国語活動の時間を設定し、その取り組みや成果を掲示や便りなどで示す。

＜本年度の振り返り＞

- 学習のゴールである言語活動を意識したモデルを提示し、段階を踏んだ指導を行うことで、書くことに苦手意識をもっている児童も意欲的に取り組むことができた。
- 学習の過程が可視化できるモデルを常に確認できるようにすることで、見通しをもって主体的に取り組むことができた。
- 本時の活動内容が多かった。指導事項と活動を精選していく必要がある。
- 交流の目的と内容がずれてしまうことがあった。課題の達成に近づく交流を取り入れていくために、視点を明確にする説明や例示を考えていく必要がある。

